

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けて

山口県教育庁義務教育課 令和8年3月

子どもたちが、授業における学習内容を、人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。

このスライドでは、令和7年度に県の指定を受け、授業研究に取り組んだ各学校の実践事例を紹介しています。各学校のWebページが掲載されていますので、今後の全校体制での授業づくりの参考としてください。

- 授業力向上実践研究指定校（県）実践事例



令和7年度授業力向上実践研究指定校

長門市立深川小学校

11月19日(水)

国語・算数・社会

山口市立鴻南中学校

1月28日(水)

国語・社会・理科

岩国市立通津小・中学校

11月26日(水)

算数・算数

12月12日(金)

国語・社会・理科

下関市立安岡中学校

11月10日(月)

数学・国語・理科

山陽小野田市立埴生小・中学校

11月28日(金)

算数・外国語・国語・数学

下松市立公集小学校

10月1日(水)

算数・社会・理科

柳井市立柳東小学校

11月27日(木)

道徳・国語・算数

「いろいろなことに関心をもって進んで学ぶ子を育成する授業の在り方」

岩国市立通津中学校区

通津小学校

- 副題
～振り返りの充実を通して～
- 研究の重点
授業の「振り返り」に重点を置いた、授業実践
- 通津小学校の定義する5種の振り返り
 - A 授業を通して「ついた力」や「未解決な部分」について自らの学習を振り返っている
 - B 自己の変容を捉えている
 - C 学習を終えてさらに追究したい内容を表現している
 - D 協働学習の成果や友達の学びに気づき、自分の学び方を振り返っている
 - E 学習内容を実生活に生かせるかという視点で考えている。

通津中学校

- 副題
～子どもの「かかわり合い」を生み出すための効果的な手立て～
- 研究の重点
 - ・ かかわり合いを生み出すための工夫と評価
 - ・ かかわり合いをうみだすためのICTを取り入れた授業実践と評価
- かかわり合いを生み出す工夫について
 - ・ 「めあて」の重要性
→生徒が興味をもつことができるめあてが「かかわり合い」を生み出す
 - ・ 「意図的な」かかわり合い活動の重要性
→「意図的な」活動設定が、効果を上げる
 - ・ 授業での「かかわり合い」の土台は学級づくり
 - ・ 「学び」へのモチベーションを高めることが必要不可欠

「いろいろなことに関心をもって進んで学ぶ子を育成する授業の在り方」

岩国市立通津中学校区

通津小学校 <https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/tuzu-e/>

教科名：算数
学年：4年1組
単元名：「面積」
本時の内容：
L字型などの複合図形
の面積を、工夫して求める



教科名：算数
学年：6年2組
単元名：「図形の拡大と縮小」
本時の内容：
与えられた図形の拡大図（縮図）
をかく



通津中学校 <https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/tuzu-j/>

教科名：国語
学年：1年A組
単元名：「少年の日の思い出」
本時の内容：「僕」の心情の変化をまとめる



教科：社会
学年：2年A組
単元名：「古都京都・奈良と歴史的景観の保全」
本時の内容：歴史的景観保全の取組のメリット・デメリットを考える



教科：理科
学年：3年B組
単元名：宇宙の天体（太陽系）
本時の内容：地球以外の惑星に移住可能か考える



「魅力的な授業づくりに向けて」

柳井市立柳東小学校

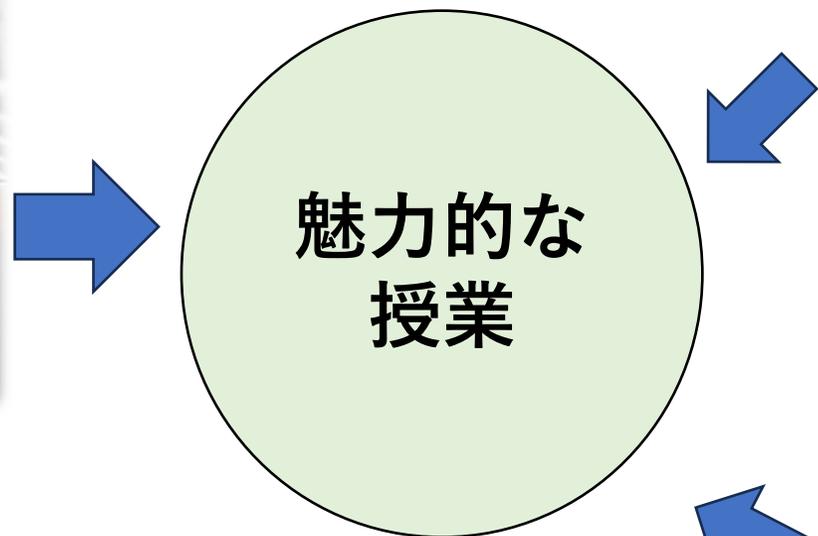
①取組の概要：1年間の取組の概要の紹介

研修主題：「自ら考え、進んで学び、確かな学力を身に付けた柳東っ子の育成
～学習意欲を高める魅力的な授業づくり～」



週末ミニ研修

- ・ 授業や子どもについて
- ・ ICTや指導技術について



教職員による模擬授業

②Webページアドレス：<https://www.fureai-cloud.jp/ryutosho>

③公開授業の紹介



教科名:特別の教科 道徳

学年:1年1組

主題名:あきらめないで さいごまで

本時の内容

自分の役目がうまくいかずくじけそうになっても、粘り強く続けていくこぐまの心情を考える活動を通して、最後まで努力し続ける大切さに気づき、自分の役目を粘り強く続けていく心情を育てる。

教科名:国語科

学年:4年1組

単元名:生活とむすびつけてしょうかいしよう

本時の内容

よさが伝わる語句をつなげた文を読み直す活動を通して、言葉を書き換えたり、補足したりしながら自分が本文から用いた語句を使って「いち推し」を伝えるための紹介文を書く。

教科名:算数科

学年:6年1組

単元名:比例と反比例

本時の内容

画用紙の枚数を数える活動を通して、比例関係に着目し、効率よく数える方法を説明する。

①取組の概要

子どもたちが互いの考えに関心をもち、自分の学びを再構成しながら深め合う、真に意味のある「思い豊かな交流」の実現を目指して、3つの視点を設定しました。



視点1 自分の考えを深め、思いを豊かに交流したくなる
「学習課題」の設定

視点2 子どもの「表現する力」を育む支援・環境づくりの手立て

視点3 自らの学びを振り返り、自他の成長や変容を実感させる
工夫

②公開授業紹介：【10月1日(水)公開】



教科名：算数

学年：2年2組

単元名：見方・考え方をふかめよう

本時の内容

変数をまとめて考える方法について、ブロックや図を用いながら伝え合う。

教科名：社会

学年：4年4組

単元名：水はどこから

本時の内容

水道水クイズや利き水などの活動を通して、学習課題をつくる。

教科名：理科

学年：5年2組

単元名：ふりこのきまり

本時の内容

振り子を観察したり、条件を変えるために話し合ったりしながら、実験の見通しをもつ。

③Webページアドレス：<https://www.fureai-cloud.jp/kousyuusyou>

①取組の概要：1年間の取組の概要の紹介

教師の学び

生徒の学び

県指定「授業力向上実践研究」の取組 合言葉：鴻南中は授業づくりの松下村塾たれ！

学習集団づくり

■好きです授業！鴻南SUKIの4つの約束

S：姿勢・整理整頓（心構え・物構え）
U：うなづき（反応・他者を認める）
K：挙手（積極性）
I：いい雰囲気（コミュニケーション・間違いを恐れない）

学習課題づくり

■考えたくなる・対話したくなる学習課題の設定
■学習課題づくりスタンダードの設定（身近さ・不思議さ・多様な考え・既習事項との違い・必然性・発展的・学びのよさ・生徒の疑問・難易度）

ICT活用

■ICTを活用して協働的な学びができるような授業づくりを目指す
■学び合いを高めるICTツールの選定と研究（一人では考えられなかった意見に出会う、教え・教わることで全員が成長する、仲間と協力することで意欲が向上する）

自律的・探究的な学び
授業における「自己との対話」「他者との対話」の活性化

鴻南中校区 教育目標 百々たい意気・能力
好きです鴻南！ 挑戦する力・つながる力・認める力
鴻南中学校 教育目標
学び合い高め合う生徒を育む鴻南中学校

「学び合い高め合う生徒を育む授業づくり」

山口市立鴻南中学校

②公開授業紹介：【1月28日（水）公開】

学習集団づくり部会



教科名：社会

学年：1年7組

単元名：EUって必要？

本時の内容：

EUの是非を判断し、今後のEUの在り方を考える。

学習課題づくり部会



教科名：国語

学年：1年1組

単元名：二十歳になった日

本時の内容：

文章の書きぶりから、作者の価値観を読み取る。

ICT活用部会



教科名：理科

学年：3年6組

単元名：土の中の生き物

本時の内容：

土の中の生き物の役割を理解し、分解の速さを多角的に捉える。

③Webページアドレス：<https://fa.fureai-cloud.jp/konan-j/>

①取組の概要

探究的な学びの充実に向けて、育てたい「探究」力を4段階に整理し、特に教科においてはLv03までの指導のあり方を研究の主軸とした。

○生徒が問いをもてるよう、

「めあて」をHow型・Why型で提示

○授業後に「学習方略」を

理解させるための振り返り活動の工夫

○各教科でLv01～Lv03に応じた

探究的活動の具体例を蓄積・共有

○指導過程を「問いの設定→情報収集

→整理・分析→まとめ・表現」

と整理し日常授業に組み込む

Lv	「探究の相」	問い	手続	方法
1	確認のための探究 (confirmation inquiry) 前もって結果がわかっている場合に、活動を通じて原理を確認する	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	構造化された探究 (structured inquiry) 与えられた手続きに従って、教師が示した問いについて実験する	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	指導された探究 (guided inquiry) 生徒が自分でデザインまたは選択した手続きを用いて、教師が示した問いについて実験する	<input checked="" type="checkbox"/>		
4	オープンな探究 (open inquiry) 生徒が自分でデザインした手続きを用いて、生徒自らが立てた問いについて調査をする			

(参考「The Many Levels of Inquiry」 (Banch&Bell))

②公開授業紹介:



教科名:数学
学年:中学3年1組
単元名:図形と相似
本時の内容
直接には測定できない2点間の距離を2つの三角形に置き換えて相似を活用して求める。



教科名:国語
学年:中学1年1組
単元名:少年の日の思い出
本時の内容
本文の言葉に注目し、登場人物の行動理由について考え、説明する。



教科名:外国語活動
学年:小学4年1組
単元名:Unit7
What do you want?
本時の内容
果物と必要な数を尋ねて、友達の食べたいパフェを作る。



教科名:算数
学年:小学1年1組
単元名:ひき算(2)
本時の内容
ブロックの操作活動を通して、減数が5以下の時は、減加法だけでなく減減法も使えることに気付く。

「学びが好きな生徒の育成～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～」

下関市立安岡中学校

①取組の概要

「学習活動の工夫」、「発問の工夫」、「思考力、表現力の向上」を重点目標に、教科の枠を超えた授業研究を進めました。特に「ICTの効果的な活用」、「発問の工夫」について共有することで、日頃の授業の取組を振り返りました。

○ICTの効果的な活用…資料、動画の提示、実技の様子を動画で記録、思考する場面での意見交換、振り返りアンケート

○発問の工夫…身近な教材を扱う、条件を加えた問い、批判的な見方で考えることができる問いへ

②11月10日(月) 公開授業

教科名:国語科 学年:3年3組

単元名:夏草「おくのほそ道」から

中心発問:芭蕉はなぜ涙を流したのか考えよう

ICTの活用、発問の工夫

- ・電子黒板とロイロノートの使い分けができていた
- ・問い返しがあったことで学びが深まった
- ・授業の内容を理解し、振り返りが書けていた

教科名:数学科 学年:3年2組

単元名:3章 $y=ax^2$ いろいろな関数

中心発問:そのグラフを選んだ根拠は何ですか

ICTの活用、発問の工夫

- ・イラストや動画は問題をイメージしやすかった
- ・問題が生徒の実態に合っていた
- ・教科の専門用語を使って答えるように促した

教科名:理科 学年:3年4組

単元名:宇宙を観る(宇宙の天体)

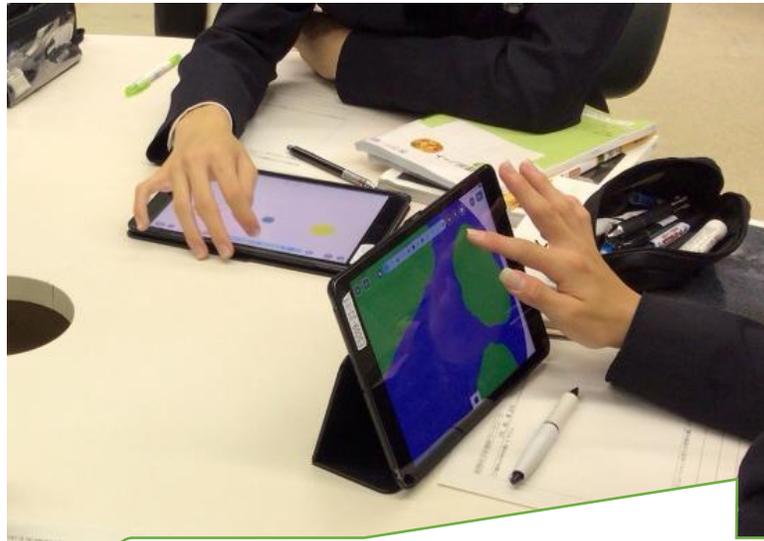
中心発問:銀河はどのような形をしているか

ICTの活用、発問の工夫

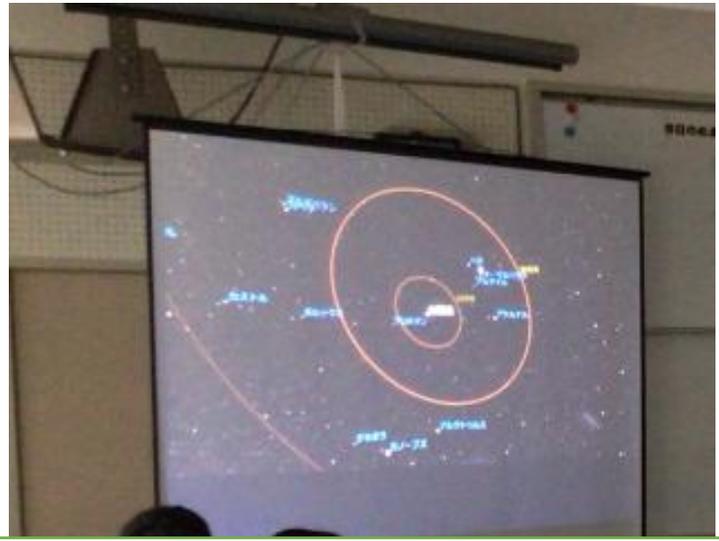
- ・自由に表現した宇宙のイメージをロイロノートで共有した
- ・宇宙に関する疑問を積極的に質問していた
- ・実際に見ることができない天体は、アプリを用いることで視覚的に捉えることができた

☆「芭蕉はどうして涙を流したのだろうか。」
 自分の考え
 昔のことが一夜の夢のように消え去ってしまい、時は流れるのが早いとさみしい気持ちで泣いた功績がわかる草原となっているから

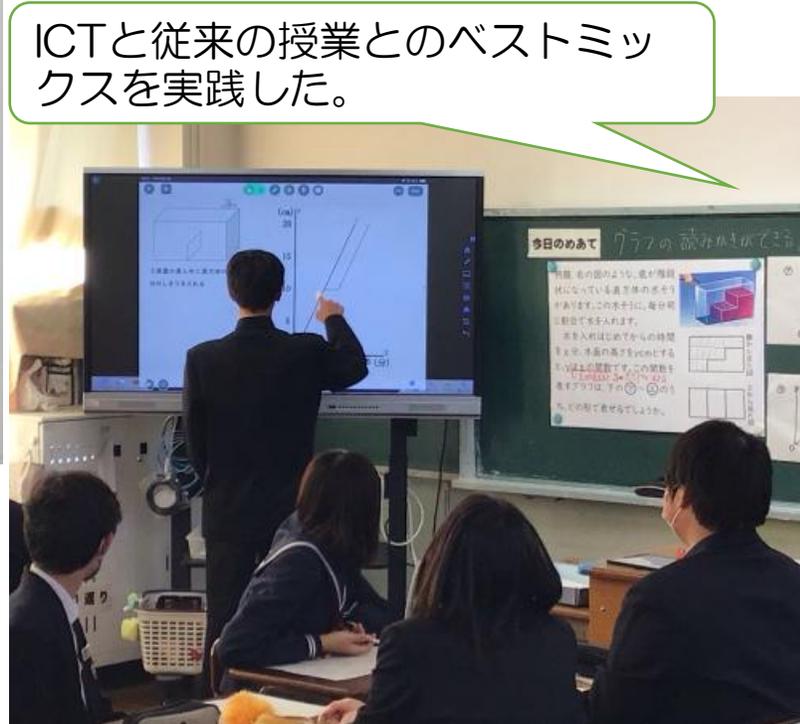
理由・根拠
 頑張った人せきは時が過ぎると、どんどん志がゆるく感じかけたから。



ICTの活用場面。自分のイメージを表現したり、アプリを活用して実際の様子を確認したりすることができた。

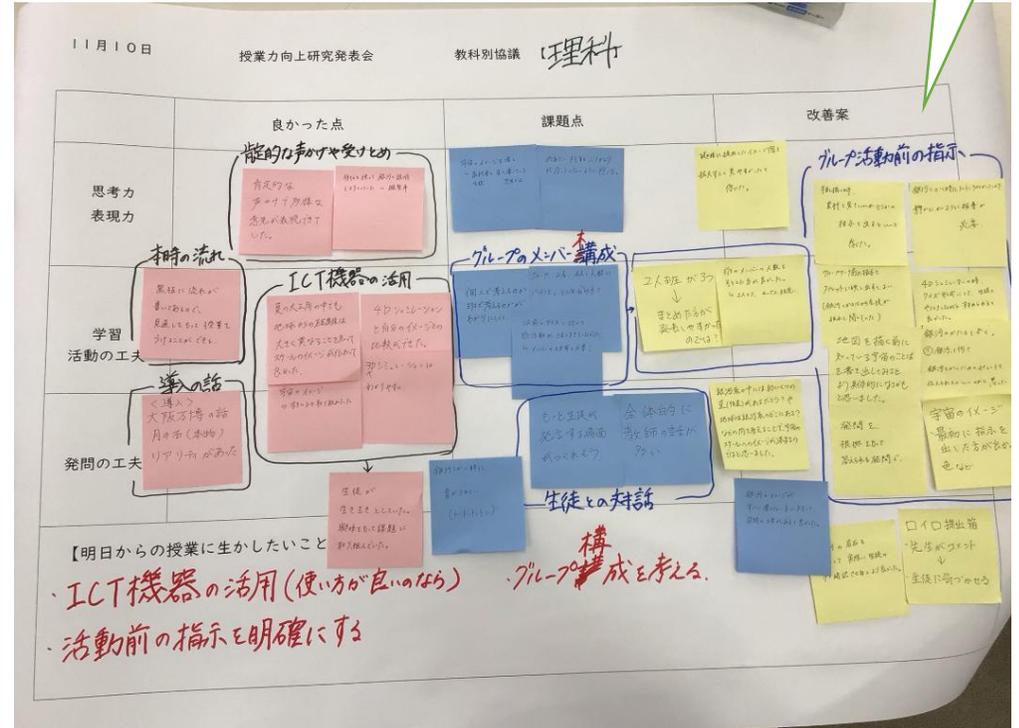


安岡スタイルの研究協議に参加していただいた。



ICTと従来の授業とのベストミックスを実践した。

発問に対しての自分の考えを表現できていた。



「思いや考えを伝え、関わりながら深まる子どもの育成」

～学び合いが生まれる授業づくりを通して～

長門市立深川小学校

①取組の概要

「授業構想力」と「授業運営力」を意識した授業づくりに向け、①学習に興味をもち、意欲を向上させる導入②深まりにつながる再発問③めざす子どもの姿に向けた手立てについて研修を進めました。また、再発問を「技能習得につながるもの」「教材に立ち戻ることへつながるもの」「自分自身に立ち戻ることへつながるもの」と整理し、共通理解して取り組みました。

②公開授業紹介

【11月19日(水)】

教科名：国語科

学年：1年2組

単元名：「じどう車くらべ」

本時の内容：クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることを通して、説明の順序性や「そのために」の役割に気付くことができる。



教科名：算数科

学年：4年1組

単元名：「面積」

本時の内容：複合図形の求積活動を通して、複合図形を分けたり、既習の図形にしたりすれば面積を求められることに気付き、面積の求め方を図や式を用いて説明することができる。



教科名：社会科

学年：6年1組

単元名：「戦国の世から天下統一へ」

本時の内容：天下統一を進めた二人の武将の取組について、学習してきた内容を振り返り、自分の考えを表現することで、戦国の世が統一されたことについて理解を深めることができる。



③Webページアドレス：<http://www.nagato-shi-school.jp/fukawa-es/>